

高等部教育目標

イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う

探究型カリキュラム教育/学習目標

SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける

探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning

1. 自分事として 2. 社会/実践を通して 3. 知識を大事に 4. コミュニケーションを通して 5. 生徒・教員が共に
<オーナーシップ/一人称> <PBL型/アクション> <自ら得る知識/高める関心> <自分/他者のやりとり> <共に探究する関係性>

上位学習目標**【知識・技能】**

- 自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる
- 社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる

【思考力・判断力・表現力】

- 自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる
- 自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる

【学びに向かう力・人間性】

- 主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。
- 社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。

下位学習目標**【知識・技能】**

- 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる
- 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる
- データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる

【思考力・判断力・表現力】

- 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる
- 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる

【学びに向かう力・人間性】

- 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている
- 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている
- 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている

| 授業日 | 11/13(水) | 2学期授業回数 | 9回目 / 全11回 | | |
|------------|---|---|------------|--|--|
| 本時 学習目標 | 主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】①② ＜本時の具体的な目標＞ 調査設計に基づき、調査内容を確定し、調査を依頼することができる。 | | | | |
| 時間 授業内容 | 0 | 今日の流れの説明 <ul style="list-style-type: none"> ① 調査設計から調査の依頼へ ② 今後の予定 | | | |
| | 5 | グループワーク <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査の依頼 進捗チェックリスト（図1）に沿って、調査内容を具体化していく。 く。 2. アポイントのとり方[電話編] /メールの書き方 資料をもとに電話で話すことの下書きを書く。または調査依頼メールの下書きを作成する。 3. 担当の先生のチェックを受ける 4. 調査対象者に調査を依頼する | | | |
| 評価方法 | 進捗チェックリストを参考にしながら、インタビュー調査を依頼することができる。 | | | | |
| 宿題指示 | 調査依頼が終わっていない班は、調査依頼を完了する。 | | | | |

進捗チェックリスト（インタビュー）※完成した箇所は■に青色でハイライトをつけること

【インタビュー実施前】

調査対象者を決めた

調査対象者の連絡先（電話番号、メールアドレスなど）を入手した

調査対象者について入手可能な情報をまとめて残り人に見て残り込んだ

調査対象者に連絡して、アポイントを取り付けた。その際、自分の連絡先も伝えた。

インタビューダイアログに沿って、インタビューの質問項目を決めた

※「必ず書くこと」と「時間があれば書くこと」を分けているか？

※質問へ（インタビューパート）の先生に（チェック）してもらいたい。

調査対象者に送る協力依頼メールを書きを作成し、担当の先生のチェックを受けた

調査対象者に協力依頼メールを送った。※ CC(Carbon Copy)に担当の先生のメールアドレスを入れること

【インタビュー実施後】

インタビューの目的を伝え、インタビューの経緯の許可を得た

インタビュー中は手を取らなければならぬ時を聞いた。

実践映像の許可を得て、インタビューの記録写真を撮った

※インタビュー実施後

インタビューのお礼メールの下書きを作成し、担当の先生のチェックを受けた

調査対象者にインタビューの協力のお礼メールを送付した。※CCに担当の先生のメールアドレスを入れること

※インタビュー実施からなるべく早く（時間をおかず）に送付すること

インタビューの影音データを日本に渡ったところを解説して文字に起こした

図1) チェックリストをもとにインタビューの準備を進めていく。